



会場が一体となって盛り上がりました 海上自衛隊大湊音楽隊コンサート

7月5日、美郷町公民館で海上自衛隊大湊音楽隊コンサートが行われました。コンサートは2部構成となっており、第1部では「斎太郎節」の主題による幻想や「ゲールフォース」などの伝統的な音楽を演奏。第2部では雰囲気を変え、テレビCM曲や映画音楽などのさまざまなジャンルの演奏を披露し、集まった約400名の聴衆を楽しませました。また、今年度の秋に国民文化祭「アクアJAZZフェスティバル in MISATO」が開催されることから、「フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン」や「シング・シング・シング」などのジャズナンバーが演奏されると、聴衆は大きな拍手で応え、会場が一体となって盛り上がりました。

協力し合える地域社会を目指して 第11回美郷町社会福祉大会

7月10日、美郷町公民館で美郷町社会福祉協議会（佐藤成輝会長）が主催する第11回美郷町社会福祉大会が行われ、地域住民や福祉関係者など約300名が参加しました。

佐藤会長は、同協議会などが取り組む認知症による徘徊者の早期発見活動を挙げ、「地域社会の支えを必要とする方々を支援し、今後も安心・安全なまちを目指したい」とあいさつ。続いて、福祉活動に貢献した方々に佐藤会長から表彰状や感謝状が贈られました。また、ともに手をつなぎ支え合う地域づくりの推進に努めることを盛り込んだ大会宣言が承認されたほか、認知症に関する講演や秋田民謡と踊りのアトラクションが行われました。

ふるさと美郷への思いをさせて 第2回秋田・美郷町ふるさと会総会

7月13日、東京都内で秋田・美郷町ふるさと会の総会が開催され、約300名の会員が出席しました。

第2回となる今年のテーマは「かだつて（参加）たんせ ODOもABAもかだつて（語る）たんせおらだのふるさと美郷町」。石川明美会長は冒頭のあいさつで「設立総会以来、3地区の友好・交流の絆が結ばれたことを大変うれしく思う。役員をはじめとする会員の皆様のご尽力、お力添えに改めて感謝したい」と謝意を述べました。総会では会則の一部変更や今年度の事業計画が満場一致で承認されました。

その後の交流会では、国民文化祭をPRするビデオメッセージや、町の話題を紹介するスライドショーが放映されたほか、ふるさと大使であるブラボー中谷さんのマジックショーなどが行われました。会の最後には出席者全員で町民歌「光あふれて」を合唱し、ふるさと美郷への思いをさせました。



美郷町合併10周年記念事業 美郷大使 高階秀爾さん 文化講演会

7月20日、美郷大使の高階秀爾さん（美術評論家・大原美術館長）による文化講演会が名水市場湧太郎で行われ、町内外から約110名が参加しました。

「西洋の美・日本の美」と題した講演では、西洋と日本の芸術作品を比較し、それぞれの美意識の違いについて解説。また高階さんの父が本町出身であることに触れ「ここで育った父は、真昼山のことを思い出しながら自然の歌を詠んでいた。日本人の自然というもの、そういう生活の中に続いている。これは忘れてはいけない大事なこと。日本と西洋、違いがはっきりありながら、しかし非常に近いものがあるということをお互いに理解することが大事なのではないか」と、温かなメッセージを残されました。



第7回 町議会 臨時会



平成26年第7回町議会臨時会が7月17日に開かれました。審議された議案は次のとおりです。

可決された案件

■美郷町農業委員会委員の推薦について

農業委員会等に関する法律の規定による議会推薦の農業委員として、井関一良さん（扇田）を推薦しました。

■平成26年度美郷町一般会計補正予算第4号

焼却炉のダイオキシン類等サンプリング調査費の追加、JALホームページ掲載事業負担金の追加、ニテコ名水庵下屋屋根修繕工事の追加および保険金受け入れによる歳入の増額など、歳入歳出予算にそれぞれ1499万4千円を追加し、総額を113億3083万9千円としました。

変化のセンス

美郷町長 松田知己



海上自衛隊大湊音楽隊コンサートであいさつを述べる松田町長

風

年ですね、以前より目が早く覚めるようになりました。そのお陰で「得したな」と思うこともあるので、「まあいいか」と思っています。先日も早朝のテレビ番組で得しました。新聞も読み終わったのでBS番組をスイッチオン。そうしたところ、オルガンの音楽番組が目飛び込んできました。

その音楽、感動でした。同時に「これは賛否両論あるな」と

思いました。ちなみに私は賛成派です。曲は、有名なJ.S.バッハの無伴奏チェロ組曲第一番前奏曲。バッハの曲はギター部だったので、出だしは「ふんふん」と聞いていました。途中から「んんん？」となり、最後に「おお！」となって聞き終えました。原曲が途中から編曲された演奏でした。インタビュで「曲の本質を受け止め、愛をもってその価値を人に伝えたい」と主旨の発言がありました。だから編曲していると…。

本質にある価値や意義を伝えるための適宜変化は、音楽のみならず全てに共通だろうと思います。行政においても施設再編や制度見直しなどは、本質にある意義を環境に合わせて未来に

伝えていくための変化です。この度、美郷町は除雪のあり方も見直し作業に入りましたが、変化を見据えたこの作業の核心にある想いは、音楽における編曲作業と一緒のつもりです。

4年連続の豪雪ですので、「除雪はしっかりな！」というみなさんの声は承知しています。他方、除雪は道路幅や歩道整備に伴い面積拡大します。降雪量が多ければ当然時間も掛かり増しします。しかも予算は青天井ではありません。その環境の中で通学や出勤に間に合わせなければなりません。それが除雪の本質だからです。とすれば、当然変化していかなければ除雪の本質を守れないという結論に至ります。この度の見直し作業はそのためです。

編曲はセンスが問われます。先のオルガン奏者・編曲者はキヤメロン・カーペンターという方ですが、私はすばらしいと思います。そのセンス、私たちの作業も見習いたいものです。賛否両論はあると思いますが…。